

キーワードを入力

Q

トップ

速報

ライブ

個人

オリジナル

みんなの意見

ランキング

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT

科学

ライフ

地域

茨城・鹿嶋の鹿島小 「風船旅」ヒマワリ開花 東京の小学校から飛来

9/14(火) 9:00 配信

3



茨城新聞
クロスアイ

1 / 2



ヒマワリが開花し、喜びを見せる鹿島小の教職員たち=鹿嶋市城山

風に乗り約115キロを旅したヒマワリの種が、茨城県鹿嶋市城山の市立鹿島小(石津光彦校長)で小さな花を咲かせた。昨年10月、校内に降り立った風船に付けられていた種で、同小で大切に育ててきた。風船を飛ばしたのは東京都内の小学校。両校でヒマワリの開花が話題になっている。

ヒマワリの花は、直径約6センチの大きさで1輪。今月初旬に開花した。市内小学校は新型コロナウイルス感染拡大で休校中のため、同小のホームページで児童たちに紹介している。

同小によると、風船を飛ばしたのは、東京都立川市立松中小。風船には「学校ですきなこと さんすう」「松中小でとれたひまわりの種です」などと書かれたカードと種が付けられていた。今年5月に種を植え、教職員が肥料や水やりをしたほか、植え替えには園芸委員も協力して育ててきたという。

松中小によると、風船を飛ばしたのは、同小50周年を記念した事業の一環。コロナ禍で大規模な式典を実施できないことから企画し、全校生徒で風船約400個を飛ばした。拾った人から電話や手紙が届いており、鹿島小が最も遠い地域からの返答だったという。

松中小の福原憲生校長は開花の知らせを受け、「とてもうれしい。職員にも伝えるとわーっと沸いた」と声を弾ませた。鹿島小でヒマワリを育成している担当者は「縁あって来た種。なんとか咲かせられてほっとした」と笑顔を見せた。

両校では「小さな種から始まったつながり」を生かし、オンラインでの交流などを検討している。